

 評価のポイント

CL-Ⅱ. 看護実践能力：協働する力

[30-2] 小児の訪問看護 2 医療的ケア児の退院支援

1. 退院支援の流れについて説明してください。

多くの病院では退院支援部門と担当スタッフがありますが、こどもの退院調整に慣れていないことも多いため、小児科病棟のスタッフも退院調整の概要を知っておくことが望ましいです。スクリーニングの基本は成人と同じで、医療処置の持ち帰りがあるかないか、必要な在宅医療機器・材料の洗い出し、家族の手技獲得の必要性、病状の安定や予後予測などから退院の準備に必要なことがらを洗い出します。スタッフ間での役割分担、準備にかかる期間などを決めて、退院に向けての計画を立て、準備を開始します。退院のめどがついた時点で、地域の関係者にも呼びかけて退院前カンファレンスを行います。外出や外泊を経てすべての準備を終えたことを確認して退院となります。家族の手技の獲得など、進捗により適宜退院時期の調整が必要になります。

2. 人工呼吸器管理をしている1歳前のこどもを例に、退院にむけての準備で、どのような情報収集や準備が必要となるか書き出してみましょう。

固定した回答はありません。ここでは想像上の患者をもとにできるだけ多くの確認項目が上がるように学習をすすめます。医療的ケアの手技獲得や育児ケア指導などは病棟勤務スタッフにとってはイメージしやすい項目ですが、それ以外にも、在宅医療での使用機器、電源の確保、ひと月に必要となる医療材料の種類と数量といった「持ち帰る医療に関連したことがら」、通院・外出時の「移動手段・移動の練習」、訪問診療や訪問看護・リハビリなどの「訪問サービス」、他の家族メンバーの生活スケジュールや役割分担、主養育者の休息確保、きょうだい児のイベントや体調不良時に医療的ケアを代替してくれる人の確保など、医療処置以外の「暮らし」を意識した視野で考えて項目を挙げます。退院に向けて情報収集・アセスメントに必要な視点を養います。